

の福祉用具サービス計画  
作成ガイドライン（GL）  
の普及に向けてシンポジ  
ウムを開いた。

同GLは、ふくせんが  
厚労省の助成を受けて  
「福祉用具専門相談員の  
質の向上に向けた調査研  
究事業」としてまとめた  
もの。同時に指定講習力  
リキュラムの整理・見直  
しを行い、講習時間を40  
時間から50時間に増や  
し、筆記試験による修了  
評価を行うことにした。  
これにより、約2万20  
00人の専門相談員（約

8割が指定講習修了者）  
が福祉用具サービス計画  
を作成する際の指針とし  
て活用できるようになり、  
福祉用具サービスの標準

化と専門相談員の質の向  
上に期待が寄せられる。  
シンポでは、白澤政和  
・桜美林大学大学院教授  
がコーディネーターを務  
め、瀬戸恒彦・かながわ  
福祉サービス振興会専務  
理事、東島弘子・国際医  
療福祉大学大学院准教  
授、渡邊慎一・神奈川県  
作業療法士会会長、岩元  
理事長が意見交換した。

### 福祉用具専門相談員 質の向上に向けGL

ふくせんがシンポ

全国福祉用具専門相談  
員協会（「ふくせん、岩  
元文雄理事長）は17日、  
14日に公表されたばかり